

黙っていても伝わるもの

ある日、通勤途中の車中から、歩道に座り込んでいるような中学生の女の子を見かけました。「具合が悪いのかな?」と思ったのですが、よく見ると手袋をはめて、手にはビニール袋を持ち、落ちていたごみを黙々と拾っていたのでした。しかもたった一人で。鞆をからっていたので、通学途中だったのでしょう。誰にも頼まれたわけでもなく、誰に見せるためでもなく、ただただ学校へ着くまでの通学路をきれいにしようとしているその姿に、心が温かくなりました。

先日、東京で開催された世界陸上に合わせて、プロランナーの川内優輝さんらが国立競技場の周りをゴミ拾いしながらジョギングする「プロギング」と呼ばれる取り組みに参加したというニュースを目にしました。「プロギング」は環境保全活動の一環として世界的に広まっているそうで、SNSやマスメディアの力を考えると、良い取り組みとして益々広がっていくのではないのでしょうか。

私が見た女の子が、どのような気持ちでゴミ拾いを始めたのかについては知る由もありませんが、小さな行動が街をきれいにし、人の心まで明るくしてくれたことは事実です。「プロギング」も良いことですが、その女の子の行動に、「良いことは静かに、自然に」——そんな生き方を学ばせてもらった朝でした。

